

# NEWS FLASH

## 大雨災害などを想定した 防災訓練を実施

大雨災害と感染対策を想定した「防災訓練」が11月11日に三石スポーツセンターで行われました。

会場では、静内保健所やひだかトヨタ自動車販売会社などの協力のもと、町職員など47人が参加し、感染症に備えた段階ボールペンの距離の取り方や防護衣の脱着、発熱者用避難テントの設置などの訓練のほか、停電時に備えた給電機能付き車両からの電源供給や暖房機能を備えた避難用大型エアートントの設置訓練が実施され、災害時に備えた対応能力の強化を図りました。



防護衣の脱着訓練

## 明治安田生命と健康づくりの 推進に関する連携協定を締結

町と明治安田生命保険相互会社苦小牧支社（七田久司支社長）による「健康づくりの推進に関する連携協定締結式」が11月15日に役場静内庁舎で行われました。

協定では、健康づくりや生活習慣病予防・重症化予防対策に関することなどについて相互に連携・協力し、町の健康な生活の実現を図ることを目的としています。

七田支社長は「健康増進などに発展する協力を積極的にいき、さまざまな場面で地域の役に立ちたい」と話しました。



### 体験滞在型観光を考える講演会 『魅力再発見！新ひだかの新たな旅づくり』

町主催の『体験滞在型観光を考える講演会』が11月11日に公民館で開かれ、町内外から約70人が参加しました。

講演会では、早ければ来年にも国立公園に指定される日高山脈をはじめ、数多くの魅力ある町内の観光資源について、環境省自然保

護官の山北育実氏と北海道宝島旅行社社長の鈴木宏一郎氏による講演が行われたほか、参加者を交えた意見交換も行われ、観光資源の再発掘による効果的な活用方法や、専門的な観光ガイドの重要性などが話し合われました。



## 日高信用金庫が

### サクラを寄贈・植樹

日高信用金庫（大沼孝司理事長）が11月18日に緑のふるさと温泉の森キャンプ場でエゾヤマザクラの苗木3本を寄贈・植樹しました。

同金庫の創立100周年記念事業の一環として、新冠町から広尾町までの6町でサクラを寄贈・植樹しており、

創立90周年に当たる平成23年から継続して環境整備事業に取り組んでいます。

大沼理事長は「キャンプ場のオープン時期に開花し、憩いの場になってほしい」と話し、大野町長は「開花を楽しみにしたい」と話しました。



## 地名の由来や史跡を学ぶ アイヌ文化講座

町主催の『アイヌ文化普及啓発事業「アイヌ文化講座」』が11月23日にシャクシャイン記念館で開かれ、町内から20人が参加しました。

アイヌ文化を広く町民に知ってもらうため毎年開催している事業で、今回は町内の地名の由来についてのアイヌ語講座や



## 飲食店における感染防止対策 第三者認証制度開始

北海道飲食店感染防止対策認証制度（第三者認証制度）の管内初となる現地確認が11月22日に飲食を提供する町内のホテルなどで行われました。

この制度は、安心して飲食店を利用してもらう一つの目安となるもので、来店者の感染

予防や施設・設備の衛生管理の徹底など28項目の基準への適合性を確認し認証するものです。

道などによる厳しい検査のもと、認証基準に適合した場合は、感染防止対策実践店の認証書が交付されます。



### みついし牛枝肉共助会で 畑端博志さんが最優秀賞

みついし農業協同組合（酒井薫代表理事組合長）主催の黒毛和牛肉の品質を競う『第17回みついし牛枝肉共助会』が11月25日に東京都中央卸売市場食肉市場で開かれ、出品された36頭の中から畑端博志さん（三石本桐）出品の『剣峰』が最優秀賞

を受賞し、さらに共助会での過去最高単価を記録しました。翌日、同組合で褒章授与式が行われ、5回目の最優秀賞を受賞した畑端さんは「今回のような良質な牛を毎年育てていきたい。受賞は本当にうれしいです」と話しました。

### 山田菊子さんへ白寿祝い贈呈

山田菊子さん（99歳）が11月30日に白寿を迎え、静内青柳町の自宅で町から祝い状、社会福祉協議会から記念品が贈呈されました。

山田さんは栗沢町で生まれ、昭和15年に結婚し、終戦後も中国で鉄道に関する技術指導者として働き、昭和28

年に帰国。三石川上などで3人の子どもを育てました。現在は、孫が6人、ひ孫が1人います。家族の方は「白寿おめでとう。これからもお互いに健康で長生きしていきたいです」と話しました。



### 新型コロナウイルスワクチン 3回目の追加接種開始

新型コロナウイルス感染症の3回目のワクチン接種が12月1日から町内の医療従事者を対象に開始されました。3回目の接種は、2回目の接種完了後8か月以上経過した町内に住所を有する18歳以上で、追加接種を希望する方のみ接種が可能です。

1月21日から高齢者施設などで巡回接種を開始して順次接種券を発送し、2月以降は2回目接種時期に応じて1・2回目と同様に町内医療機関での個別接種や公民館などでの集団接種を予定しています。



3回目のワクチン接種を受ける小松静内病院長

### 新年に向けて

#### 「スゲのお飾り」を制作

大蛇クラブ（萩澤正美代表・三石富澤）が12月5日に延出生活館でスゲを使ったお正月用しめ飾りの制作が行われました。

平成8年に地元の小学校から大きなしめ縄の制作を依頼されたことがきっかけとなり、しめ飾りを制作する『大蛇クラ

ブ』を設立。会員10人で毎年制作し、地域の保育所などに配布しています。

この日、9月中旬に収穫し、天日干しにして保管していたスゲを、蒸す・縫る・編む・成形・飾り付けの5つの担当に分かれ、丸1日かけて25本の立派なしめ飾りを作り上げました。



縫ったスゲを編む様子

飾り付けの様子

### サークルオブライフ号

#### 阪神ジュベナイルフリース制覇

『第73回阪神ジュベナイルフリース（GI・芝1600位）』が12月12日に阪神競馬場で開かれ、(有)千代田牧場（飯田正剛代表取締役・静内田原）の生産馬サークルオブライフ号が見事優勝を果たしました。レースでは、最後の直線で力強い末脚を見

せて差し切り、勝利をつかみ取りました。飯田貴大専務は「前二走でポテンシャルを見せていたので、期待していました。勝つことができて本当に良かったです。日高生産馬としてこれからも地域を盛り上げてくれればと思います」と話しました。



### 読み聞かせや工作に夢中

#### としよかんフェスティバル

教育委員会主催の『としよかんフェスティバル・クリスマス』が12月5日に総合市民センターで開かれ、親子連れなど38人が参加しました。

会場では、クリスマスにちなんだ絵本の読み聞かせやパネルシアターのほか、参加者がサンタヤツリーの型紙に色付け

し、プラスチック製の透明コップをかぶせた『なんちゃってスノードーム』を作りました。参加者は「かわいくできてうれしい。サンタさんがきてくれると思う」と笑顔で話し、夢いっぱいのクリスマスに向けて楽しい時間を過ごしました。